

講義シラバス													
科目名	アシスタントプログラム	必修 選択の別	必修	開講 区分		2S(後期)		授業 形態		演習		総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	1年生						
講師名	対馬 友理	講師プロフィール	札幌市内美容室で勤務後、フリーランスヘアメイクとして活躍。札幌、道内、東京等で、広告、CMを中心にモデル、タレント、アーティストのヘアメイクを担当。										
【授業を通じての到達目標】													
現場実習に備えて、クライアントやお客様の要望に応える技術を身につける。													
【学習内容】													
アシスタントとして必要な知識や技術を身につける。 ヘアセットのバリエーションを増やす。													
【使用教科書・教材・参考図書】							【授業時間外における学習】						
メイク道具、ヘア道具一式、筆記用具													
回	授業計画						回	授業計画					
1	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。						9	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。					
	【到達目標】 アイドルチームヘアメイクを想定し、ヘアアレンジをする。							【到達目標】 現場を想定し、技術的な面でもアシストできるようにトレーニングする。 臨機応変に対応できる能力を身につける。					
2	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。						10	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。					
	【到達目標】 アイドルチームヘアメイクを想定し、ヘアアレンジをする。							【到達目標】 現場を想定し、技術的な面でもアシストできるようにトレーニングする。 臨機応変に対応できる能力を身につける。					
3	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。						11	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。					
	【到達目標】 エキストラヘアメイクの現場を想定し、ヘアアレンジする。							【到達目標】 現場を想定し、技術的な面でもアシストできるようにトレーニングする。 臨機応変に対応できる能力を身につける。					
4	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。						12	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。					
	【到達目標】 エキストラヘアメイクの現場を想定し、ヘアアレンジする。							【到達目標】 現場を想定し、技術的な面でもアシストできるようにトレーニングする。 臨機応変に対応できる能力を身につける。					
5	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。						13	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。					
	【到達目標】 イベントブースのヘアメイクの現場を想定し、ヘアアレンジのバリエーションを増やす。							【到達目標】 現場を想定し、技術的な面でもアシストできるようにトレーニングする。 臨機応変に対応できる能力を身につける。					
6	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。						14	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。					
	【到達目標】 イベントブースのヘアメイクの現場を想定し、ヘアアレンジのバリエーションを増やす。							【到達目標】 現場を想定し、技術的な面でもアシストできるようにトレーニングする。 臨機応変に対応できる能力を身につける。					
7	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。						15	【定期試験内容】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。					
	【到達目標】 ヘアアクセサリ、小物を使ったヘアアレンジのバリエーションを増やす。							【評価項目とフィードバック】 後期を通してのまとめ、フィードバック。					
8	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する。						【成績評価の方法と基準】						
	【到達目標】 ヘアアクセサリ、小物を使ったヘアアレンジのバリエーションを増やす。						●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						
【履修に当たっての心構え・留意点】													

講義シラバス									
科目名	コスメ研究	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	講義	総時間数	16 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	1年生		
講師名	新井 梨沙	講師プロフィール	Esther nail+エステルネイルプラス代表自身のトータルビューティーサロン&スクールを運営しながらコスメ・メイク・ネイルの専門家として美容専門学校・セミナー・企業・職業訓練講師として幅広く美容教育に携わる。札幌ベルエポックでは自身の資格と経験を生かし、技術・接客・ライフワークに至るまで全てに特化した授業を担当している。						
【授業を通じての到達目標】 化粧品の特徴と使い方を理解し、現場にあった化粧品を選び使えるようになる。									
【学習内容】 化粧品の知識を深め正しく理解し、化粧品の選び方、ブランド特徴、メイク法など幅広い美容知識を身につける。									
【使用教科書・教材・参考図書】 メイク道具、鏡、いつも使っている基礎化粧品、筆記用具、雑誌、はさみ、のり					【授業時間外における学習】 指定された項目のコスメリサーチ				
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業テーマ】 基礎化粧品の正しい使い方、知識を身につける 【到達目標】 基礎化粧品についての知識を深め大切さを知る。普段のスキンケアの見直し				9	【授業テーマ】 【到達目標】			
2	【授業テーマ】 下地、ファンデーションの種類を知り使えるようになる。 【到達目標】 沢山の種類の下地やファンデーションの効果や使い方について比較研究する				10	【授業テーマ】 【到達目標】			
3	【授業テーマ】 アイシャドウ、アイライナーの種類を知り使えるようになる。 【到達目標】 色々なブランドの発色の仕方や質感、入れ方使い方を学び比較研究する。				11	【授業テーマ】 【到達目標】			
4	【授業テーマ】 ビューラー、マスカラ、つけまつげの種類を知り使えるようになる。 【到達目標】 まつげの理想や色々な作り方、まつげの化粧品を知り使えるようになる。				12	【授業テーマ】 【到達目標】			
5	【授業テーマ】 アイブロウ商品について知り使えるようになる。 【到達目標】 メイクのイメージやその方にあった眉の色や形を研究しながら商品を試し比較研究する。				13	【授業テーマ】 【到達目標】			
6	【授業テーマ】 チーク・リップ・リップライナー・グロスの種類を知り使えるようになる。 【到達目標】 チークの入れる位置を意識しながらメイクのイメージに合わせたチークを選び研究する。似合う色、メイクのイメージに合わせたリップを選び実際に付けて比較研究する。				14	【授業テーマ】 【到達目標】			
7	【授業テーマ】 職業別トータルセルフメイク 【評価項目とフィードバック】 目標の職業やブランドをイメージし、コスメを選びセルフメイクをする。				15	【定期試験内容】 【評価項目とフィードバック】			
8	【定期試験内容】 コスメ研究まとめ 【到達目標】 コスメ撮影・商品レビュー・授業のまとめレポート提出				【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】 授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導 作品の完成度									

講義シラバス

科目名	コンテスト	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	1年生		
講師名	佐々木 智子	講師プロフィール	美容学校卒業後 東京のサロンにて約9年、一般美容師業務兼メイク担当。札幌にもどり開業、現在は、美容室経営でサロンワーク、多方面にてイベント、撮影、ブライダル、舞台などのヘアメイク業務にも携わっています。ベルエポックの非常勤講師としては、17年目になります。						

【授業を通じての到達目標】

ヘアメイクコンテストに対応できる技術と発想力を身に付ける。

【学習内容】

一般ヘアメイクとコンテスト向けのヘアメイクの違いと技法習得。

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習】

ファッション雑誌や流行に関心を持ち 雑誌を見ることや、過去の年代別ファッションやヘアメイクを知るなど、美術館行ってアートに触れ何か感じ感性を磨く時間を持つ。

回	授業計画	回	授業計画
1	<p>【授業テーマ】 コンテストの為に授業、出場する 目的を知って 技術の向上やセンスを磨いていくための方法を知る。</p> <p>【到達目標】 モデル選び、テーマの決め方、コンテスト出場へ向けての準備をする。</p>	9	<p>【授業テーマ】 アイモデルで バック夜会、サイドトップ アレンジスタイルを仕上げる。</p> <p>【到達目標】 人頭でのアレンジスタイルを仕上げる中、セット剤の使い方、お客様への対応など含め プロとしての立ち振る舞いを意識しながら作品を仕上げる。</p>
2	<p>【授業テーマ】 与えられたテーマから ヘアメイクスタイル案をデザインする。</p> <p>【到達目標】 前期で習得した技法から ヘアスタイル仕上げる事ができる(ウィッグ)</p>	10	<p>【授業テーマ】 アイモデルで バック夜会、サイドトップ アレンジスタイルを仕上げる。</p> <p>【到達目標】 人頭でのアレンジスタイルを仕上げる中、セット剤の使い方、お客様への対応など含め プロとしての立ち振る舞いを意識しながら作品を仕上げる。</p>
3	<p>【授業テーマ】 球体、タワー、籠網、その他 編み込み技法を習得。</p> <p>【到達目標】 支持されたブロッキングから 様々な技法を取り入れ 形を仕上げる事ができる。</p>	11	<p>【授業テーマ】 テーマを決め ヘアセット、めいくのスタイルを考えデザインシートを仕上げる。</p> <p>【到達目標】 テーマに合うウィッグコンテスト用にウィッグの顔にメイクをする。</p>
4	<p>【授業テーマ】 球体、タワー、籠網、その他 編み込み技法を習得。</p> <p>【到達目標】 支持されたブロッキングから 様々な技法を取り入れ 形を仕上げる事ができる。</p>	12	<p>【授業テーマ】 テーマを決め ヘアセット、メイクのスタイルを考えデザインシートを仕上げる。</p> <p>【到達目標】 テーマに合うウィッグコンテスト用にウィッグの顔にメイクをする。</p>
5	<p>【授業テーマ】 夜会巻き③バックスタイル(本夜会)ブロッキング技術習得。</p> <p>【到達目標】 手順を覚えバランスよく 形を創ることができる。</p>	13	<p>【授業テーマ】 メイクを仕上げたウィッグにヘアアレンジを創る。</p> <p>【到達目標】 ヘアメイクのバランスから、髪飾りなど考慮トータルバランス良い作品に仕上げる。</p>
6	<p>【授業テーマ】 夜会巻き④バックスタイル(本夜会)ブロッキング技術習得。</p> <p>【到達目標】 手順を覚えバランスよく 形を創ることができる。</p>	14	<p>【授業テーマ】 メイクを仕上げたウィッグにヘアアレンジを創る。</p> <p>【到達目標】 ヘアメイクのバランスから、髪飾りなど考慮トータルバランス良い作品に仕上げる。</p>
7	<p>【授業テーマ】 夜会巻き⑤バックスタイル(本夜会)ブロッキング技術習得。</p> <p>【到達目標】 手順を覚えバランスよく 形を創ることができる。</p>	15	<p>【定期試験内容】 メイクを仕上げたウィッグにヘアアレンジを創る。髪飾り その他の装飾も取り入れる。</p> <p>【評価項目とフィードバック】 1、テーマによる表現力 2、面、カールなどの仕上げ 3、おくれ毛の処理 4、ノート、5、忘れ物 6、施術姿勢</p>
8	<p>【授業テーマ】 前期中間チェック 様々な技法を取り入れ 自分で考えたスタイルを仕上げる。</p> <p>【到達目標】 テーマからの 技法、面やカールの艶、など トータルのバランスよく仕上げていく。</p>		<p>【成績評価の方法と基準】</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>

【履修に当たっての心構え・留意点】

技術ばかりではなく 常に仕事現場に対応できるよう 身の回りの整理整頓、掃除含め、時間を意識しながら授業に取り組むこと願います。

講義シラバス

科目名	スキルアップメイク・エアブラシ	必修 選択の別	必修	開講 区分	集中	授業 形態	実習	総時間数	24 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	1年生		
講師名	高木 佳子	講師プロフィール	大手化粧品メーカーに22年間在籍し、美容マネージャーなどを歴任。接客・社員教育などで寄与。その間に化粧品検定1級を取得。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてハリウッドエアーの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、企業研修や高校での模擬面接などを担当。□						
【授業を通じての到達目標】									
エアブラシを活用したメイク技術を習得し、プロとしてお客様へ幅広いメイク提案が出来る知識と技術を高める□									
□									
【学習内容】									
エアブラシメイクの特徴を理解し、基本的な使い方を習得する □									
イメージに合ったメイクを、知識と技術を活かし表現する□									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
エアブラシ機器 メイク落とし タオル					メイク道具 テッシュ ビニール袋				
コットン・綿棒 水差し					筆記用具				
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業テーマ】 9/29 ～オリエンテーション～この授業の目的と到達目標の確認 エアブラシメイクの誕生～経緯、及び特徴を理解□				9	【授業テーマ】			
	【到達目標】 小テスト: 2 エアブラシ機器の特徴を理解する 始業前後の準備及び身だしなみについて理解する□					【到達目標】			
2	【授業テーマ】 10/6 エアブラシファンデーションの特徴、及び肌色に合った色作り□				10	【授業テーマ】			
	【到達目標】 小テスト: 6 エアブラシメイクの基本的な使い方 エアブラシ用ファンデーションの特徴・ファンデーションの色の出し方を習得する□					【到達目標】			
3	【授業テーマ】 10/13 エアブラシ チーク/ハイライトの入れ方と色作り□				11	【授業テーマ】			
	【到達目標】 小テスト: 8 エアブラシメイクの基本的な使い方 エアブラシ用チーク/ハイライトの色の出し方を習得する□					【到達目標】			
4	【授業テーマ】 10/20 エアブラシ アイブロウ・リップの入れ方と色作り□				12	【授業テーマ】			
	【到達目標】 小テスト: 8 エアブラシメイクの基本的な使い方 カラーミックス、ステンシルを使いアイブロウ・リップの描き方を習得する□					【到達目標】			
5	【授業テーマ】 10/27 アイシャドウの入れ方と色の出し方□				13	【授業テーマ】			
	【到達目標】 小テスト: 8 エアブラシメイクの基本的な使い方 カラーミックスで色を作り、イメージに合わせたアイシャドウの入れ方を習得する□					【到達目標】			
6	【授業テーマ】 11/3 トータルでメイクを仕上げる				14	【授業テーマ】			
	【到達目標】 小テスト: 8 エアブラシメイクの基本的な使い方 イメージに合わせたメイクを仕上げる					【到達目標】			
7	【授業テーマ】 11/17 相モデルのイメージに合わせたコンセプトシート作成□				15	【定期試験内容】			
	【到達目標】 小テスト: 10 イメージの合わせたトータルメイクを相モデルで仕上げる□					【評価項目とフィードバック】			
8	【定期試験内容】 11/24 定期試験: 50点				【成績評価の方法と基準】				
	【評価項目とフィードバック】 エアブラシメイクの基本的な知識と技術を活かし、 コンセプトシートに合わせイメージにあった仕上がりの確認□				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導									

講義シラバス									
科目名	フェイシャル	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	講義	総時間数	21 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	1年生		
講師名	中城美香	講師プロフィール	エステティシャン歴17年。エステサロン運営(市内2店舗)。美容関連イベント企画主催運営、自身のラジオ番組パーソナリティー。女性のための美容活動を幅広く行う。						
【授業を通じての到達目標】									
現場におけるメイク時、クライアントに対して提示された仕事内容以上のことを提供・提案できるよう、実技としてどんなことが出来るかを学び、身につける。与えられた以上の価値の提供がマッサージやコミュニケーションによって可能ということを知る。あらゆる状況において臨機応変に対応できる能力を身につける。									
【学習内容】									
リンパマッサージ、ハンドマッサージ、リフトアップ、ヘッドマッサージ(肩～首)、むくみケア…等、クライアントのメイク時に可能なマッサージ法等の習得。食の指導。自分自身のスキンケア法、化粧品学・皮膚学等の知識習得。現場で活用できるコミュニケーション術。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
筆記用具、オイル、タオル、手指消毒用アルコール、鏡、アレルギーのある人はいつも使用するオイル、フェイス乳液、クリーム等。					定期的な宿題提出				
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業テーマ】 ～オリエンテーション～授業の目的と到達目標の確認。※小テスト				9				
	【到達目標】 シラバスの説明。現場において、できることの範囲を広げることで自身の仕事内容を濃くすることが出来ることを知る。美容に携わる立場の人間として、自身が美容に興味をもつことの大切さを知る。授業の心構え・準備を整える。								
2	【授業テーマ】 現場におけるマッサージ法①、それに合わせた注意事項。※小テスト				10				
	【到達目標】 リンパマッサージ、フェイスリフトアップ。メイク時に併用することでリフトアップ効果やくすみ解消効果等の手法の基本を学ぶ。								
3	【授業テーマ】 現場におけるマッサージ法②※小テスト				11				
	【到達目標】 ハンドマッサージ、ヘッドマッサージ(肩～首)、むくみケア、ホットタオルの使い方。フェイス以外のマッサージ法の基本を学ぶ。								
4	【授業テーマ】 中間テスト(実技・筆記)				12				
	【到達目標】 ハンド～ヘッドのマッサージ実技テスト。								
5	【授業テーマ】 皮膚学、セルフスキンケア法、セルフエステ法※小テスト				13				
	【到達目標】 自身のための正しいスキンケアを知ることで美容知識をより深め、美容に対する関心を高める。肌の構造を知る。								
6	【授業テーマ】 食、化粧品学。				14				
	【到達目標】 肌をつくるのは食であることの理解を深め、自身の食生活も見直す機会とする。同時に普段自分が使っている化粧品の成分も理解する。								
7	【定期試験内容】 定期試験(実技)				15				
	【評価項目とフィードバック】 ネック～フェイスラインのマッサージ実技テスト。								
8					【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導									

講義シラバス									
科目名	ヘアメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	1年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビなどの撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダルなどのモデルやタレントアナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、さらに世界の3大コレクションであるニューヨークコレクションにも、Japanチームとして参加するなど、海外まで活動の場を広げているアーティストが16名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
プロとしてのヘアメイク技術を取得し、現場で通用する高いレベルを目指す								作品作り	
【学習内容】									
ヘアメイクの技術を取得する									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ				9	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ			
	【到達目標】 オリエンテーション 撮影の現場や仕事の内容を理解し、プロとしてのマナーや立ち振る舞い方を知る (過去の撮影写真を参考に)					【到達目標】 「アートメイク」をテーマに相モデルで施術する			
2	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ				10	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ			
	【到達目標】 撮影におけるナチュラルメイクを理解し、40分で施術する 写真を撮る					【到達目標】 写真撮影のコンセプトを考える			
3	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ				11	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ			
	【到達目標】 「カラーメイク」をテーマに40分で施術する 写真を撮る					【到達目標】 写真撮影のポイント練習を相モデルでする(40分)			
4	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ				12	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ			
	【到達目標】 「浴衣に合うヘアスタイル」をテーマに40分で施術する 髪飾りの付け方を学ぶ 写真を撮る					【到達目標】 テスト練習(90分) 施術①			
5	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ				13	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ			
	【到達目標】 デザインを選び、相モデルで40分以内にヘアセットをする 写真を撮る					【到達目標】 テスト練習(90分) 施術②			
6	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ				14	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ			
	【到達目標】 デザインを選び、相モデルで40分以内にヘアセットをする 写真を撮る					【到達目標】 テスト(90分) 施術① カメラマンによる写真撮影 定期試験			
7	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ				15	【定期試験内容】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ			
	【到達目標】 韓国メイクの特徴やポイントを理解し施術する 写真を撮る					【評価項目とフィードバック】 テスト(90分) 施術② カメラマンによる写真撮影 定期試験			
8	【授業テーマ】 イメージに合わせたヘアメイクを学ぶ				【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
	【到達目標】 外人メイクの特徴やポイントを理解し施術する 写真を撮る 中間チェック								
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	メイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S(後期)	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	1年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビなどの撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダルなどのモデルやタレントアナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、さらに世界の3大コレクションであるニューヨークコレクションにも、Japanチームとして参加するなど、海外まで活動の場を広げているアーティストが16名所属するヘアメイク事務所です。						

【授業を通じての到達目標】

テーマに基づいたイメージ通りのメイクを作ることができる

【学習内容】

テーマに基づきコンセプトシートを作成し、イメージ通りのメイクを作る

【使用教科書・教材・参考図書】

ファッション雑誌

【授業時間外における学習】

回	授業計画	回	授業計画
1	<p>【授業テーマ】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し、模写メイクする</p> <p>【到達目標】 コンセプトシートを作成し、ポイント練習する 「トレンドメイク」(マキア、美的etc) *ベースを美しく仕上げる</p>	9	<p>【授業テーマ】 お客様の要望に合わせたメイクが出来る モデルの要望を聞く</p> <p>【到達目標】 成人式の振袖を想定して、15～20分以内でメイクを仕上げる コンセプトシート作成、相モデルでポイント練習をする</p>
2	<p>【授業テーマ】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し模写メイクする</p> <p>【到達目標】 模写メイク、相モデルで40分以内に仕上げる (マキア、美的etc) *ベースを美しく仕上げる</p>	10	<p>【授業テーマ】 お客様の要望に合わせたメイクが出来る</p> <p>【到達目標】 成人式の振袖を想定して、30分以内でメイクを仕上げる</p>
3	<p>【授業テーマ】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し模写メイクする *ハイライト、シェーディングの入れ方を知る</p> <p>【到達目標】 「トレンドメイク」コンセプトシート作成、練習 (テーマは各自が選択) *ハイライト、シェーディングをセルフで練習する</p>	11	<p>【授業テーマ】 お客様の要望に合わせたメイクが出来る</p> <p>【到達目標】 卒業式を想定した袴メイク コンセプトシート作成、相モデルでポイント練習をする</p>
4	<p>【授業テーマ】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し模写メイクする</p> <p>【到達目標】 「トレンドメイク」 相モデル *ハイライト、シェーディングの入れ方を理解する</p>	12	<p>【授業テーマ】 お客様の要望に合わせたメイクが出来る</p> <p>【到達目標】 卒業式を想定した袴メイク 相モデル、30分以内で仕上げる</p>
5	<p>【授業テーマ】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し模写メイクする *マットな肌の作り方を知る</p> <p>【到達目標】 「トレンドメイク」 *マットな肌作りをセルフで練習する</p>	13	<p>【授業テーマ】 お客様の要望に合わせたメイクが出来る</p> <p>【到達目標】 パーティーヘアメイク(謝恩会、結婚式、二次会など) コンセプトシート作成 ポイント練習、HM練習を相モデルで行う</p>
6	<p>【授業テーマ】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し模写メイクする</p> <p>【到達目標】 「トレンドメイク」 相モデル、40分以内でメイクを仕上げる *マット肌の作り方を知る</p>	14	<p>【授業テーマ】 定期試験① お客様の要望に合わせたメイクが出来る</p> <p>【到達目標】 パーティーヘアメイク(70分以内)</p>
7	<p>【授業テーマ】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し模写メイクする *ツヤ肌の作り方を知る</p> <p>【到達目標】 「トレンドメイク」 相モデル40分以内 *ツヤ肌をセルフで練習する</p>	15	<p>【定期試験内容】 定期試験② お客様の要望に合わせたメイクが出来る</p> <p>【評価項目とフィードバック】 パーティーヘアメイク(70分以内)</p>
8	<p>【授業テーマ】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し模写メイクする</p> <p>【到達目標】 「トレンドメイク」 相モデル40分以内でメイクを仕上げる *ツヤ肌の作り方を知る (中間チェック)</p>	<p>【成績評価の方法と基準】</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス									
科目名	ヘアセット	必修選択の別	必修	開講区分	2S(後期)	授業形態	演習	総時間数	45 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	1年生		
講師名	岸田知紘	講師プロフィール	札幌ビューティーメイク専門学校卒業後、美容室に勤務。経験を積みヘアセットの世界へ。ヘアセットサロン歴12年目。サロンワーク外でも様々なヘアセットを手掛ける。スタジオjpヘアメイクスクールにて講師として活躍。□						
【授業を通じての到達目標】									
ヘアセットの基礎を学ぶ。ホットカーラー・アイロンの巻き方・ブロー・逆毛の理論から学ぶ。理論をしっかりと知ること、ピン打ちの復習やカールアップのバリエーションを知る。									
【学習内容】									
基礎を知る。技術は反復により一層の理解を深める。出来る・分かるが自信に繋がりに向上心へと繋げる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
セットウィッグ・クランプ・ホットカーラー・ロールブラシ・ドライヤー・水スプレー・ヘアアイロン・テールコーム・ハードスプレー・ダッカール・ピン類									
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業テーマ】 自己紹介 デモンストレーション 技術チェック				9	【授業テーマ】 ハーフアップ3 かぶせて作るハーフアップ			
	【到達目標】 デモンストレーションにより、動きや姿勢など、見て学ぶ。技術チェックにより苦手なところ理解の足りないところを知る。					【到達目標】 7回目と同様			
2	【授業テーマ】 様々な技術のポイントを確認する				10	【授業テーマ】 夜会巻き			
	【到達目標】 ホットカーラー 引き出す角度の確認とタイムアップ。ヘアアイロンの巻き方 内巻き・外巻き。ピン打ち 留め方の復習					【到達目標】 今までの技術を使って、面のあるスタイルを作る。面のスタイルの手の使い方をマスターする。			
3	【授業テーマ】は シニヨン				11	【授業テーマ】 夜会巻き			
	【到達目標】 ホットカーラー、ゴムの結び方の確認、ピンの止め方の確認					【到達目標】 10回目と同様			
4	【授業テーマ】 ダウンスタイル1				12	【授業テーマ】 夜会巻き			
	【到達目標】 ホットカーラー 引き出す角度の確認。ブロー、ヘアアイロンの巻き方 内巻き・外巻きのバリエーション。カールの出し方、スプレーのかけ方					【到達目標】 10回目と同様			
5	【授業テーマ】 ダウンスタイル2				13	【授業テーマ】 ハーフアップ4 ちらしのハーフアップ			
	【到達目標】 ホットカーラー ヘアアイロンの巻き方 内牧、外牧のバリエーション。ブロー、スプレーワーク逆毛の理論とやり方					【到達目標】 ゴムの根元に入れる逆毛、逆毛の入れ方、逆毛の使い方・目的を確認する。カールの出し方・なじませ方			
6	【授業テーマ】 ダウンスタイル3				14	【授業テーマ】 ハーフアップ5 チラシのハーフアップ			
	【到達目標】 ホットカーラー ヘアアイロンの巻き方 内牧・外牧のバリエーション。ブロー スプレーワーク 逆毛 地肌に入れる逆毛					【到達目標】 ゴムの根元に入れる逆毛、逆毛の入れ方、逆毛の使い方・目的を確認する。カールの出し方・なじませ方			
7	【授業テーマ】 ハーフアップ1 ポンパから作るハーフアップ				15	【定期試験内容】 定期試験			
	【到達目標】 ホットカーラー ヘアアイロンの巻き方 内巻き・外巻きのバリエーション。ブロー、逆毛、地肌に入れる逆毛、ピンうち、土台作り、スプレーワーク					【評価項目とフィードバック】			
8	【授業テーマ】 ハーフアップ2 かぶせて作るハーフアップ				【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
	【到達目標】 ホットカーラー ヘアアイロンの巻き方 内巻き・外巻きのバリエーション。ブロー、逆毛、地肌に入れる逆毛								
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	1年生		
講師名	小川 智加	講師プロフィール	新卒で大手SPAアパレル企業に入職し、その後外資系アパレル会社のラグジュアリーブランドで販売、MD、VMDの職歴を積む。札幌ベルエポックでは業界経験を活かし、業界コラボをはじめファッション、ファッションビジネス中心に携わる。						
【授業を通じての到達目標】									
美容・ヘアメイク・ファッション・ブライダル業界で活躍できるプロフェッショナルになるため、学校生活を通じて社会人基礎力を身につけ就職活動における基盤を作る。									
【学習内容】									
学校生活のルールを理解して好奇心や創造力を高めて業界で活躍できるプロフェッショナルな人材を目指す。互いを認め合いコミュニケーション能力を身につける。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
プロ道ノート、筆記用具、HAND BOOK OF LIFE STYLE 他					アシスタントプログラム				
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業テーマ】 ・2Sの目標を立てる ・学校ルールの再確認 ・グループワークを通じてコミュニケーションをとる 【到達目標】 ・自身の目的・目標を明確にする ・グループワークを通じて人に想いを伝える力を身につける				9	【授業テーマ】 ・就職活動フローの理解と振り返り 【到達目標】 ・授業内容のまとめ ・個々の目標を振り返り就職活動につなげることができる			
2	【授業テーマ】 ・ヘアメイク、ブライダル、ファッション業界、企業について理解する(ヘアメイク) ・アシスタントプログラムについて理解する 【到達目標】 ・業界について興味をもって自ら業界研究を行うことができる ・社会人として業界で活躍するための立ち振る舞いや言葉遣いができる				10	【授業テーマ】 ・自身の就職、将来について専攻を考える ・社会人としての心得を理解して目標を明確にする 【到達目標】 ・社会人としての自覚をもち将来の目標を明確にできる ・ポートフォリオ作成して振り返りすることができる			
3	【授業テーマ】 ・ヘアメイク、ブライダル、ファッション業界、企業について理解する(ブライダル) ・アシスタントプログラムについて理解する 【到達目標】 ・業界について興味をもって自ら業界研究を行うことができる ・社会人として業界で活躍するための立ち振る舞いや言葉遣いができる				11	【授業テーマ】 ・業界で活躍するプロフェッショナルの人について理解を深める 【到達目標】 ・業界で活躍する人の話を聞いて自身が活躍する姿をイメージできる			
4	【授業テーマ】 ・ヘアメイク、ブライダル、ファッション業界、企業について理解する(ファッション) ・アシスタントプログラムについて理解する 【到達目標】 ・業界について興味をもって自ら業界研究を行うことができる ・社会人として業界で活躍するための立ち振る舞いや言葉遣いができる				12	【授業テーマ】 ・就職活動における求人表の見方、検索、保険について 【到達目標】 ・就職活動に活かされるよう理解できる			
5	【授業テーマ】 ・就職活動におけるフローについて理解する ・アシスタントプログラムについて理解する 【到達目標】 ・就職活動のフローを理解して自身の目標、目的を再設定してモチベーションアップにつなげることができる				13	【授業テーマ】 ・就職活動における求人表の見方、検索、保険について 【到達目標】 ・就職活動に活かされるよう理解できる			
6	【授業テーマ】 ・就職活動講座 ・自分知って自己PRを強みにする(グループワーク) 【到達目標】 ・グループワーク、ディスカッションを通じて自分の長所・短所を理解できる ・相手に伝える力を身につけることができる				14	【授業テーマ】 ・就職活動における電話連絡対応、言葉遣いについて実践する 【到達目標】 ・就職活動に活かされるよう理解し実践できる			
7	・就職活動講座 ・自分知って自己PRを強みにする ・将来像をイメージして自身の志望動機、自己PRを明確にする 【到達目標】 ・エントリーシートを書くことができる ・自身の将来について考える力を身につけることができる				15	【定期試験内容】 ・就職活動フローの理解と振り返り 【評価項目とフィードバック】 ・授業内容のまとめ ・個々の目標を振り返り就職活動につなげることができる			
8	【授業テーマ】 ・就職活動講座 ・考える、伝える、書くことができるよう自信をつける 【到達目標】 ・自己PR,志望動機を明確にしてエントリーシート作成ができる ・相手に思いを伝えるため自身の考えや思いをプレゼンテーションできる				【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導									